

住友理工、「救急資器材展 2017 in KOBE」に出展

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼COO：松井徹）は1月26日（木）から、神戸国際展示場で開催される「救急資器材展2017 in KOBE」に心肺蘇生法（心臓マッサージ）の訓練をサポートする胸骨圧迫 訓練評価システム「しんのすけくん」を出展します。



胸骨圧迫 訓練評価システム「しんのすけくん」

*パソコンと訓練人形は、製品に含まれません

第25回全国救急隊員シンポジウムの併設展示会として開催される同展は、全国より救命救急の現場で活躍している救急隊員や医療関係者ら約6,000名の来場が見込まれるイベントです。

当社ブースでは、2016年3月に販売を開始した「しんのすけくん」を、メインターゲットの救命救急士や、彼らに指導を行う医師を中心に広くアピールし、製品へのご意見・フィードバックの収集と製品の認知度向上を図ります。ブースには体験可能な「しんのすけくん」を展示し、製品の有用性についてご紹介します。

「しんのすけくん」は、音声ガイダンスを頼りに、リアルタイムで表示される画面を見ながら、心臓マッサージの訓練を受けることができる製品です。当社開発の圧力検知センサー「スマートラバー（SR）センサ」を応用して、心臓マッサージにおいて重要な要素である圧迫の位置、深さ、リズムなどを検知。要素ごとに得点化し、客観的に評価することにより、訓練の質の向上を図ります。

当社は本製品のさらなる普及に努め、万が一の時にも正しく心肺蘇生が行える人材の裾野を広げることで、「安全・安心・快適」な暮らしづくりを目指してまいります。

<開催概要>

会議名	救急資器材展 2017 in KOBE（第25回全国救急隊員シンポジウム併設展示会）
会期	2017年1月26日（木）～27日（金）
会場	神戸国際展示場 2号館 1階

以上